



AR



▲7度目の挑戦でついにGIホースとなったサトノアラジン。

大願成就す

王者モーリスの引退後、群雄割拠の様相を呈していたマイル戦線。その頂点を争う安田記念は、やはり平穏には収まらなかった。

直線に向いて正念場の坂を上り切っても、1000㍍の通過が57秒1というハイラップで逃げたロゴタイプの脚色は衰えず、後続に3馬身ほどの差を付けて連覇のゴールを目指していた。しかし、GIウイナーやそれに伍する有力馬がやすやすと逃げ切りを許してくれるわけはない。1番人気の皐月賞馬イスラボニ

ータこそ伸びを欠いていたものの、5連勝中のグレーターロンドンが、前年のクラシック戦線で善戦を続けたエスピネルが、スプリンターズステークスの覇者レッドファルクスが、粘り込みをはかるディフェンディングチャンピオンに続々と襲い掛かる。そして馬群の大外から急追したのが後方待機策に徹していたサトノアラジン。豪快な末脚を披露してレッドファルクスやグレーターロンドンを一気に飲み込むと、ゴールの瞬間、粘りに粘ったロゴタイプをクビ差交わして、ついに念願のGIタイトルを手に入れた。

サトノアラジンは全姉に2014年のエリザベス女王杯を制したラキシを持つ良血のディープインパクト産駒。軌道に乗るまでに時間はかかったが、5歳春の京王杯スプリングカップで重賞初制覇を達成。続く安田記念は4着となると、秋にはスワンステークスに優勝。1番人気に推されたマイルチャンピオンシップでも直線で不利を受けながら僅差の5着と、マイル戦線の主翼を担うまでに成長を遂げた。本年の始動戦となった京王杯スプリングカップでは重馬場と休み明けが心配されたが9着に大敗したため、ここでは7番人気にまで支持を落としていたが、良馬場に加えて追い込み脚質に有利なハイペースでの展開も味方に付けて、関係者の誰もが待ち望んだビッグタイトルの奪取に漕ぎつけた。

レース後、池江泰寿調教師は「いい馬場状態で気分よくレースができればGIでも通用するとい続けてきた馬。これでようやく調教師としての責任が果たせた」と感慨深げ。また手綱を取った川田将雅騎手も「やっとこの馬の本当の能力を見せることができました」と、こちらは安堵の表情を見せたのだった。



▶後方にいたサトノアラジン(帽色・橙・左)は大外から進出し、直線へ。

第67回安田記念(GI)

6/4 東京競馬場 1600㍍(芝・左) 晴・良 18頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手	調教師	タイム/着差	人気	通過順位
1	サトノアラジン	牡 6	58	川田 将雅	池江 泰寿	1:31.5	⑦	14/15
2	ロゴタイプ	牡 7	58	田辺 裕信	田中 剛	クビ	⑧	1/1
3	レッドファルクス	牡 6	58	M. デムーロ	尾関 知人	クビ	③	14/13
4	グレーターロンドン	牡 5	58	福永 育一	大竹 正博	クビ	⑥	11/11
5	エスピネル	牡 4	58	武 豊	笹田 和秀	クビ	②	16/16
6	ビューティーオンリー	駆 6	58	Z. パートン	A. クルーズ	1/2	⑨	11/13
7	ステファノス	牡 6	58	戸崎 圭太	藤原 英昭	クビ	④	10/10
8	イスラボニータ	牡 6	58	C. ルメール	栗田 博憲	1/2	①	7/7
9	クラント	牡 8	58	岩田 康誠	橋口 慎介	クビ	⑯	8/7
10	コンテントメント	駆 7	58	J. モレイラ	J. サイズ	2 1/2	⑫	3/3
11	ロンギングダンサー	牡 8	58	横山 和生	田村 康仁	アタマ	⑯	17/18
12	サンライズメジャー	牡 8	58	池添 謙一	浜田多実雄	2 1/2	⑰	2/2
13	ディサイファ	牡 8	58	四位 洋文	小島 太	クビ	⑮	3/3
14	ロジチャリス	牡 5	58	内田 博幸	国枝 栄	クビ	⑯	11/11
15	アンビシャス	牡 5	58	横山 典弘	音無 秀孝	3/4	⑤	17/16
16	ヤングマンパワー	牡 5	58	松岡 正海	手塚 貴久	1 1/4	⑩	3/3
17	トーキングドラム	牡 7	58	石橋 倭	斎藤 誠	アタマ	⑯	8/7
18	ブラックスピネル	牡 4	58	松山 弘平	音無 秀孝	3 1/2	⑩	3/3

単勝 11,240円 複勝 14,380円 16,440円 16,340円 枠連(7-8)590円
馬連 14-16,10,480円 馬単 14-16,20,410円 ワイド 14-16,2,870円 6-14,2,730円 6-16,2,720円
3連複 6-14-16,43,500円 3連単 14-16-6,283,000円

ハロンタイム 12.2-10.6-11.1-11.6-11.0-11.3-12.1
通過タイム 600㍍ 33.9-800㍍ 45.5-1000㍍ 57.1-1200㍍ 1:08.1-1400㍍ 1:19.4

優勝馬 サトノアラジン

2011.2.16生 父ディープインパクト 母マジックストーム 母の父Storm Cat
安平・ノーザンファーム生産 馬主:里見治氏